

# 市街化調整区域における空き家を活用したまちづくり

アイディア	道すじ	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先進地の事例を参考にする。</li> <li>・ アーティスト村</li> <li>・ 住宅展示場のシェアアトリエはある</li> <li>・ 倉庫を利用して、シェアアトリエ</li> <li>・ スーパーオープンスタジオ</li> <li>・ 女性のリーダーをつくる</li> <li>・ キャンプ場（昔あった）</li> <li>・ 山、川、畑の恵みをあげてみる。（ヤマメ、マス、うなぎ、シイタケ、うるし、とちの実、ツル、竹）</li> <li>・ 調整区域の見直し</li> <li>・ 遊休地の利用を弾力化</li> <li>・ おしゃれな経験、地産地消</li> <li>・ 体験型の宿泊施設</li> <li>・ トレイルラン、ハイカーの休憩所</li> <li>・ のこぎり屋根を利用した街おこし</li> <li>・ 小規模商家の誘置（致×）</li> <li>・ 観光客が泊まれる民宿</li> <li>・ 里山の達人、畑、山、川、作業、地域に一人か二人</li> <li>・ 集落に住む人が自ら考え、行動に移すことが大事では？</li> <li>・ 農業体験</li> <li>・ 高尾はヤダ</li> <li>・ フットパス（イギリス発祥）</li> <li>・ 空き家バンク制度の導入</li> <li>・ 通勤が可能な地域があるので、空き家を安くかすこと。</li> <li>・ 一人一芸→誰でもコンサート！ 例）ギター、朗読など</li> <li>・ 獣害→動物の観察、調査、肉の利用</li> <li>・ 農業!→在来種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家所有者とのコンタクト</li> <li>・ 調整区域なので、新しい人が住めない。</li> <li>・ リタイヤ世代の活力を利用</li> <li>・ シニア世代の女性のパワーを利用</li> <li>・ 経済効果の高まる方法</li> <li>・ のこぎり屋根の建物マップを作る</li> <li>・ アーティストへの呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家まわりの雑木を町会員 13 人で清掃した。摺指は、51 戸、120 名の町会</li> <li>・ 地権者の承諾</li> <li>・ どう進めたら良いの？</li> <li>・ いなかの方だとお金を稼げる仕事が少ない。お金を求めない、あまり必要としない暮らしの提案。</li> <li>・ 資金</li> <li>・ 親との同居、2 世帯住宅、空き家の利用</li> <li>・ 若い世代が外に出てしまう、学校、仕事</li> <li>・ 所有者が遠方に住んでいるため、空き家について、関心がない。</li> <li>・ 所有者の考えが不明</li> <li>・ のこぎり屋根の建物のリストアップ</li> <li>・ 建物を活用したお店作り</li> <li>・ 美大が多い、活動の場所</li> <li>・ 果樹の世話、次の年、良い枝がでる。木が元気になる。風景も元気になる。</li> <li>・ 小学生が 2 人のみ</li> <li>・ 定住人口の増</li> <li>・ 子どもが少なく、空き家が多くなってきた。</li> <li>・ 制度の運用の硬直化？</li> <li>・ 行政職員のやる気、参加UP!</li> <li>・ 梅まつりが 3/12（土）、3/13（日）であるが、会場作りに何人、人がくるか？</li> </ul>

